

このフォーラムの趣旨について

黒井城跡は南北朝時代の建武年間(1334～1337)赤松筑前守貞範によって築城され、天正7年(1579)織田信長の命を受けた明智光秀による丹波攻めで落城した中世から戦国時代の山城です。

現在の遺構群は、萩野直正(赤井時家二男)によって形作られたものといわれています。また、主郭部の石垣は、信長の丹波攻めで落城した後に統治した光秀家臣の斉藤利三、羽柴秀吉家臣の堀尾吉晴によって築かれ、それに合わせて虎口も現在の形に改修されたと考えられています。

黒井城跡が続日本100名城に選定されたことや、光秀を主人公とした大河ドラマ「麒麟がくる」が決定したことから関心が高まっている黒井城跡の遺構・城下・歴史について、最新の研究成果をふまえ再評価を行います。



講演者【パネラー】

北垣 聰一郎氏
(黒井城整備委員会委員長)

山上 雅弘氏
(城郭談話会)

福島 克彦氏
(城郭談話会)

芦田 岩男氏
(丹波史懇話会)

山本 浩樹氏
(鎌谷大学教授)

【関連企画】

春日歴史民俗資料館特別展
「つわものどもが夢の跡～黒井城と直正」
令和2年1月11日(土)～同3月8日(日)



直正所用兜

主催：丹波市 / 丹波市教育委員会
協力：一般社団法人 丹波市観光協会 / 黒井城跡地域活性化委員会